2020 Spring Vol.9

STANDARD PLUS

スタンダードプラス

タカラを探して

沖縄都市モノレール

ゆいレール

新駅が開通してますます便利になったゆいレールで行く、沖縄のココロに触れるモノづくりの旅。

タカラスタンダードの新しい代表作！

「トレーシア」新登場

ホーローキッチンの新ブランド「トレーシア」。タカラスタンダードが総力をあげて取り組んだ開発秘話をご紹介！

Takara standard

タカラを探して
沖縄

沖縄で唯一の鉄道路線『ゆいレール』。那覇空港を出発駅にオフィス街や住宅地、主要な観光地へとネットワークを伸ばしています。2019年10月には4駅が延長され、アクセスはさらに向上。便利なモノレールは住まう人と訪れた人の足となり、沖縄の街と人をつなげる接点にもなっているのです。

スムーズに、そして楽しく。目的地へと運んでくれる沖縄の足。

ゆいレールが開業するまでの沖縄は自動車交通に依存し、頻発する道路渋滞が課題でした。「渋滞に巻き込まれると移動時間が読めません。通勤や通学に支障がでますし、空港への到着が遅れると飛行機にも間に合わない。定時性を確保したモノレールは人々のスムーズで確実な移動を実現したのです」と教えてくれたのは沖縄都市モノレール株式会社の長浜さん。

ゆいレールは観光客の足としても活躍し、活気あふれる国際通りや再建中の首里城にも短時間で行けます。そして、移動中に目を向けたいのが車窓の景色。ゆっくり走る車両の大きな窓の外には南国らしい町並みが広がり、海が見えるポイントも。空中散歩とも表現される楽しみがゆいレールにはあるのです。

駅内外で沖縄らしさに触れられる、新駅が誕生！

ゆいレールは2019年10月に区間を延長し、新たに4駅が開業。利便性の向上を図るとともに周辺地域の発展にも貢献していきます。

また、それぞれの駅に沖縄らしさをちりばめているのも、ゆいレールの魅力。各駅は地域性に沿ったコンセプトを設定し、駅舎や駅名標、アートグラスの意匠でその地の個性を発信しています。例えば、「てだこ浦西駅」は駅名の由来となる"てだこ(沖縄の方言で太陽の子)"をイメージさせるオレンジ色をアクセントにしたデザインを連絡通路に採用。太陽・空・海のあるてだこの町を描写したアートグラスは、天井に大きく配置され見応えがあります。駅内外に目を配り、沖縄らしさを探してみるのもゆいレールの楽しみ方の一つです。

ゆいレールの
楽しみ方を教えてくれた
沖縄都市モノレール株式会社
技術部長
長浜 正勝さん

発見 ゆいレールの新駅では、外装と内装にタカラスタンダードのホーロー壁装材「エマウォール」を採用

「エマウォール」は、清掃性・耐久性・利便性に優れたホーロー壁装材。その素材力が認められ、ゆいレール第一期区間の駅舎(15駅)の外装材として採用されていました。そして、昨年延長された第二期区間の駅舎(4駅)では外装材に加えて内装材にも導入。「エマウォールは高い美観性も魅力。既存駅で実績がありましたし、設計担当など関係者と話し合って新駅の内装材に決めました」と長浜さん。

沖縄都市モノレール株式会社

ゆいレール

ゆいレールで行く

沖縄のココロに触れる モノづくりの旅

沖縄には古くから受け継がれてきた文化が息づき、そのモノづくりを体験できるスポットもたくさんあります。さあ、ゆいレールに乗って、沖縄のココロに触れる旅に出掛けましょう！

サンゴ染

沖縄は豊かな自然から生まれる色やカタチを染め物にして楽しむ文化があり、伝統工芸「琉球びんがた」は植物染料と顔料を組み合わせて南国らしい色彩を表現しています。近年評判の「サンゴ染め」は沖縄の天然サンゴの美しい模様を生かし、繊細かつダイナミックに染色する技法。考案した「首里琉染」では実際に体験でき、Tシャツやトートバッグ、手ぬぐいなどを自分色に染めて持ち帰れます。

染料をつけたタンポで布の表面を擦ってサンゴの模様を写し出し、オリジナルデザインで染めていく。

幸福へと導いてくれる石ともいわれるサンゴで染めたアイテムは、幸せ気分を高めてくれる沖縄みやげに。

体験できるところ
首里琉染
那覇市首里山川町 1-54
首里城から徒歩5分
電話：098-886-1131

タカラを探して
沖縄

「福福茶」とも呼ばれるぶくぶく茶は、泡が鼻の頭につくのを笑い合いながら飲むのが楽しみ方の一つ。

ぶくぶく茶

ひと息つくなら、琉球王国時代から伝わる「ぶくぶく茶」を。米湯を泡立てたふわふわ泡とさんぴん茶の組み合わせは、まろやかで香り高い味わい。壺屋やちむん通りにある「うちなー茶屋&ギャラリーぶくぶく」では自分たちで泡を立てる体験もできます（要予約）。

体験できるところ
うちなー茶屋&ギャラリーぶくぶく
那覇市壺屋1丁目22-35
ゆいレール「牧志駅」より徒歩10分
電話：098-943-4811

シーサーの顔や佇まいは、作る人のキャラクターに似てくると言われる。

壺屋焼

沖縄の伝統的なやちむん（焼き物）である「壺屋焼」。その歴史は古く、琉球王国時代に那覇市牧志の南、現在の壺屋地域に窯場を造ったことに始まるのだとか。

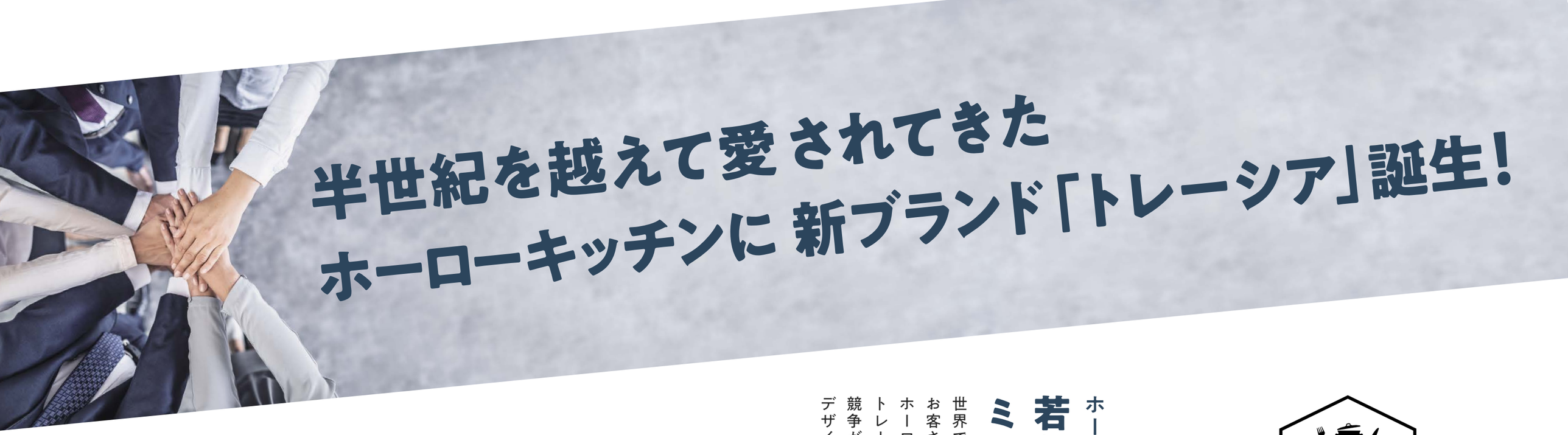
やちむんを取り扱うショップが並ぶ"壺屋やちむん通り"にある「壺屋焼窯元 育陶園」の「やちむん道場」は楽しみながら伝統の技や文化が学べる場所。沖縄の守り神・シーサー作り体験では、沖縄でとれた赤土で世界に一つだけのシーサーを作れます。

体験できるところ
壺屋焼窯元 育陶園 やちむん道場
那覇市壺屋 1-22-33
ゆいレール「牧志駅」より徒歩15分
電話：098-863-8611

火災で全焼した首里城の再建支援について

沖縄が誇る世界遺産「首里城」。2019年10月末に発生した火災で大部分は焼失してしまいましたが、一部エリアを除いて首里城公園は開園されており、再建の様子を間近に見ることができます。また、寄付受付サイトやグッズの発売など再建を支援する取り組みも各所で実施。ゆいレールの各駅にも募金箱が設置されています。

■義援金などに関する情報はこちらから　首里城 義援金　検索



半世紀を越えて愛されてきた ホーローキッチンに 新ブランド「トレーシア」誕生！

ホーロー家事らくキッチン

Treasia
トレーシア

［ シリーズ名称と由来 ］

永く愛せる「たからもの」のようなキッチンに。

「トレーシア（Treasia）」は、「たからもの（Treasure）」という英語をベースに、
使う人が永く愛せる“たからもののようなキッチン”になってほしいという想いを込めて、
タカラスタンダードが名付けた造語です。

［ シリーズコンセプト ］

何でもない日をスペシャルにする「暮らしに磨きをかけるキッチン」。

おしゃれで快適なキッチンは、時間と心のゆとりを生みます。一日の始まりと終わりに、
ここに立って家事を、暮らしを、楽しむ。トレーシアは、
“慌ただしい毎日でも一瞬一瞬を大切に過ごしたい”と願う人のためのキッチンです。

ホーローシステムキッチンがスタイリッシュに進化！

若年層にもターゲットを広げ、ミドルクラスの主力となる商品に。

世界で初めてホーロー流し台を発売してから、50年余り。タカラスタンダードは
お客さまの暮らしを豊かにする商品を発売し続けてきました。そして、２０２０年２月、
ホーローシステムキッチンの次世代を担う新ブランド「トレーシア」が誕生しました。
トレーシアは多様化している新築プランやリフォームへの対応力を強化し、
競争が激しいミドルクラスの主力となるべく開発。高品位ホーローの快適性に加えて
デザイン性を高めることで、若年層に訴求できるスタイリッシュさも兼ね備えています。

既存シリーズを統合。
デザイン性を高めて
唯一無二のシステムキッチンに。

タカラスタンダードのミドルクラスには「エマージュ」「リテラ」というシリーズがありましたが、お客さまから見て大きく差別化しにくい点が課題でした。そこで、２つのシリーズを統合して商品力を高めた新ブランドを立ち上げ、ミドルクラスの主力にする。それを目指したのが「トレーシア」です。
タカラスタンダードの代名詞である高品位ホーローを使ったシステムキッチンは汚れや湿気を寄せつけず、においもつきにくい。さらに「家事らくシンク」なら、洗う・調理する・片付けるが効率よくできます。この機能性にデザイン性を加えられれば、コンセプトに掲げた“暮らしに磨きをかけるキッチン”が実現できると考えました。

トレンドを意識した、
スタイリッシュデザインを導入。

インテリア市場ではスタイリッシュで大人っぽいデザインがトレンド。このエッセンスを取り入れ、トレーシアではコンクリート調の扉を新たにラインアップしています。また、近年人気のダークカラーは傷が目立ってしまう懸念がありますが、ホーローの扉なら傷に強いのも大きな特長。購入時の美しいデザインをキープでき、使う人が永く愛せるキッチンになると思っています。

製販一体となって
トレーシアを作り、
お客さまに届けていく。

トレーシアではこれまで以上に製販一体となって取り組み、最初の段階から開発と営業の担当が集まって話し合いました。そこで“デザイン性の高い商品で若年層に訴求する”という方向性を決め、ターゲット像も細かく設定。想いを一つにして、タカラスタンダードの新しい代表作となるホーローシステムキッチンを誕生させました。
この春、トレーシアは全国にある全てのショールームで展示。実際に見て、触れて、体験していただくことでお客さまに魅力を伝えていきます。

スタンダードプラス ニュース トピックス

STANDARD PLUS News Topics

2/29 SAT 岡山県 津山ショールーム

3/6 FRI 福島県 郡山ショールーム

3/14 SAT 富山ショールーム

ショールームリニューアルオープン

2月29日(土)に岡山県・津山ショールーム、3月6日(金)に福島県・郡山ショールーム、3月14日(土)に富山ショールームをリニューアルオープンしました。空間展示や体感コーナーを充実させ、お客さまが新築・リフォーム後の暮らしを具体的にイメージしやすいショールームとなりました。今後も地域に密着し、お客さまに「見て、触れて、納得」していただける顧客満足度の高いショールームを目指します。

2019 12/4 WED 家事らくリフォーム作品コンテスト2019を実施

昨年の初開催に引き続き、今年も「家事らくリフォーム作品コンテスト」を実施しました。全国のタカラパートナーショップから「キッチン&リビング部門」と「浴室&サニタリー部門」に分かれてリフォームの事例を募集。「家事らく」「ユーザー満足」「アイデア」「デザイン」「バリュー」の5項目に分けて審査を行い、470点の応募作品の中から「全国最優秀賞」「全国優秀賞」を選出し、12月4日(水)に本社にて表彰式を行いました。

[受賞した各社さま]

・キッチン&リビング部門全国最優秀賞
株式会社猪狩工務店さま(埼玉県)

・同全国優秀賞
有限会社松田住宅機器さま(福岡県)
株式会社Midoriさま(大阪府)
株式会社プラスワン 四日市店さま(三重県)

・浴室&サニタリー部門全国最優秀賞
木りん倶楽部 有限会社リフォームカネダさま(栃木県)

・同全国優秀賞
株式会社井上地所 住まいる工房iさま(奈良県)
太陽リビング株式会社さま(長野県)
オネストクリーンサービス株式会社さま(千葉県)

水まわりって、大切だから
Takara standard

2020年春号(第9号)
2020年3月発行(年2回発行)
発行/タカラスタンダード株式会社
〒536-8536 大阪府大阪市城東区鴫野東1-2-1
tel.06-6962-1500